２０１６年（平成２８年）９月５日　月曜日

東奥日報新聞　９面　掲載

日本 アジア王座奪還

２大会ぶりＶ 台湾を１―０

野球

U―18アジア選手権

【台中共同】野球のU―18（18歳以下）アジア選手権最終日は4日、台湾の台中で決勝が行われ、日本は台湾に1―0で競り勝ち、2大会ぶり5度目の優勝を果たした。

日本は六回2死一、三塁から納（奈良・智弁学園）が決勝の右前適時打を放った。投手陣は今井（栃木・作新学院）が5回を1安打に抑え、六回から堀（広島新庄）につないで逃げ切った。伊藤（八学光星）が2番セカンドでフル出場した。

3位決定戦は韓国が中国を14―0で下し、日本、台湾、韓国が来年のワールドカップ（W杯＝カナダ）の出場権を得た。

▽3位決定戦
韓国 14―0 中国

▽決勝

										打	安	点
台湾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1

（台）張喜凱、翁瑋均―廖建富
（日）今井、堀―九鬼

バッテリーが満点

日本・小枝監督の話

今井は苦しみながら0で抑えて立派だし、堀は三重丸の出来。（大会通じて）失点、被安打、四球が少なく、バッテリーの働きが満点だった。

【台湾】

	打	安	点
振球犠併残			
1 1 4 0 1 7	30	1	0

【日本】

		打	安	点
⑤	松尾（秀岳館）	0	0	0
④	伊藤（八戸学院光星）	0	0	0
⑧	鈴木（静岡）	0	0	0
②	九鬼（秀岳館）	0	0	0
③	中江（敦賀気比）	0	0	0
⑦	入林（作新学院）	0	0	0
DH	寺島（履正社）	0	0	0
DR	小池（木更津総合）	0	0	0
⑨	納（智弁学園）	1	1	1
⑥	佐藤（中京大中京）	0	0	0
振球犠併残				
2 7 2 0 9		25	5	1

△二塁打 鈴木▷盗塁 納、鈴木
△失策 九鬼、伊藤▷暴投 今井

		回	打安責		
投	今井（作新学院）	5	4	2	0
	堀（広島新庄）	4	1	0	0

東奥日報社提供